



「栄養経営士」第一期生誕生の年
大いなる飛躍への第一歩を踏み出そう

2014年5月に設立した一般社団法人日本栄養経営実践協会は、昨年11月29日に第1回となる「栄養経営士」資格認定試験を行い304名の管理栄養士が合格しました。

「栄養経営士」第1期生への期待が高まる中、宮澤靖代表理事より新年のご挨拶を申し上げます。

新年、明けましておめでとうございます。
本協会は、皆さまのご指導・ご鞭撻により、
設立3年目を迎えることができました。
厚く御礼申し上げます。

10年後の生き残りをかけて
304名が「栄養経営士」試験に合格！

昨年11月29日、第1回「栄養経営士」資格認定試験が行なわれ、約400名もの管理栄養士の方々に受験いただきました。深く御礼申し上げます。

本試験の受験要件で
ある基礎講習の受講者
が約700名であった

ことを考えると、非常に高い受験率であり、皆さまの「栄養経営士」に対する期待の大きさについて、うれしく思うと同時に、私たち協会として責任の重さとも痛感しております。

そもそも本協会は、将来的な目標のないま

また日々のルーチン業務に明け暮れている管理栄養士の方々に対し、このままでは医療・福祉の世界で管理栄養士という存在が必要とされなくなってしまうという危機感のもと、10年後の生き残りをかけた**自ら切り拓く未来の**
ともに考え、ともにに

今後、ご高齢の方々が増えていく中、低栄養をベースにした病態の複雑な患者さんも確実に急増します。こうした方々の治療においては、動いて食べる、つまりリハビリと栄養が不可欠になります。私たちはこの治療の基本である両軸のうちの一つを司っている専門職です。患者さん一人ひとりに合わせた質の高いオーダーメイドの栄養サポートを提供していくことが私たちの重要な使命となります。

自ら切り拓く未来の実現について
ともに考え、ともに歩もう

年後の生き残りをかけ
.....
ことになります。

て自らの未来を自分たちで切り拓いていくという目標を掲げてスタートしました。初の「栄養経営士」資格認定試験合格者の皆さまは、この目標達成に向けて大きな一歩を踏み出すことになります。

現について

日々のルーチン業務に埋没しては、到底全うできない重要なミッションです。所属する栄養部門の業務整理をし、かつ行ない、この使命を果たすためのコア業務に人・物・情報・技術を絞り込むマネジメントを実践しなければなりません。そのためには具体的にどうすればいいのか？この課題について、本協会理事と会員である皆さまとがともに考え、解決を見出していく必要があると考えます。

本協会の理事は、臨床医や多くの経験を積んだベテラン管理栄養士、さらに教育機関で指導にあたっている教員など、バランスに富んだ人材で構成されています。私たち理事は今年、会員の皆さまに對し、前述の課題についてともに考える場を数多くご提供していく予定です。

主役は会員である皆さまです。ぜひ、ともに考える場を大いにご利用いただき、私たち管理栄養士の助けを必要としているすべての患者さんに最良の栄養サポートをご提供するという目標達成につなげていただきたいと思います。

この一年が皆さまにとって大いなる飛躍の年となりますことを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

食べる喜びを
皆様にお届けすること
それが当社の使命です。



ヘルシーフード株式会社

代表取締役 黒田 賢

NY 191-0024

東京都日野市万願寺1-34-3

TEL : 042-581-1191

F A X : 042-581-2170

<https://www.healthy-food.co.jp>

“食物のチカラ”で
新たな価値を創造します。

日清オイリオグループ株式会社



“植物のチカラ。”

健医食営業部部長

森川 聡

東京都中央区新川一丁目23番1号

TEL : 03-3206-5636

F A X : 03-3206-5687

<http://www.nisshin-oillio.com>



NestléHealthScience

ネスレ日本株式会社
ネスレヘルスサイエンスカンパニー

NY 140-00002

東京都品川区東品川2-2-20

天王洲郵船ビル20F

TEL : 03-5769-6227

<http://www.nestlehealthscience.jp/>

祝 「栄養経営士」 資格認定試験 合格

日本栄養経営実践協会 役員からの 新春メッセージ

1月8日、第1回「栄養経営士」資格認定試験の合格者304名が誕生しました。
2016年は、栄養経営士がさまざまな現場で本格始動する記念すべき年になりそうです。
本協会役員が、「栄養経営士」資格認定試験に合格した皆さまへ、熱いエールを送ります。



大切なのはチャレンジすること いざ、栄養経営士という大海原へ！

日本栄養経営実践協会 副代表理事
医療法人財団松園会 東葛クリニック病院 副院長
秋山 和宏

第1回「栄養経営士」資格認定試験に合格された皆さま、おめでとうございます。また、今回は残念ながら不合格となった方にも私は大きな期待を抱いています。なぜなら、このような新たな変化を敏感にキャッチし実際にチャレンジされた瑞々しい感性は、何よりの才能であると信じるからです。

映画「カッコーの巣の上で」をご存知でしょうか？ ジャック・ニコルソンが好演した主人公マックは徴兵を逃れるために紛れ込んだ精神病院にて自由のための戦いを挑みます。最終的には病院側からロボトミー手術が施行され廃人になってしまうのですが、「I couldn't. But I tried.」という言葉を残して逝きます。そして、この言葉によって聾啞者を装ったネイティブ・アメリカンのチーフがマックの想いを実現させます。

大切なのはチャレンジすることです。たとえ成功しなかったとしても、その想いは誰かが引き継いでくれるはず。栄養経営士という大海原でのチャレンジは始まったばかりです。ともに歩んでいきましょう！

第1回試験合格者の皆さまが この資格の“これから”を担う

日本栄養経営実践協会 理事
医療法人真徳会 沖縄メディカル病院あがりはまクリニック 院長
金城大学 客員教授 吉田 貞夫



第1回「栄養経営士」資格認定試験の合格者の皆さま、誠におめでとうございます。

全国から400名を超える管理栄養士の方が受験され、皆さんの必死の努力が実を結び、300名を超える優秀な方々が合格を勝ち取られたことは、本当に素晴らしい限りです。

それと同時に、初めての合格者の皆さまには、今後の栄養経営士の方向性を担う重大な責任があります。ぜひ、地域の栄養ケアの中核的な役割を担って、近隣の管理栄養士や看護師、その他の多職種の相談相手になり、地域での連携の輪を広げていただきたいと思います。

栄養経営士という資格が、これから各界で高く評価されていくためには、資格を取得された皆さま一人ひとりが、地域から信頼され、後輩からは憧れられる存在になることがきわめて重要です。ぜひ、そうした責任のもとに、日々の業務、マネジメント、連携に取り組んでいただければと思います。



始めたら半分成功、 あと半分は継続すること

日本栄養経営実践協会 理事
関西電力株式会社 関西電力病院 疾患栄養治療センター
真壁 昇

マネジメントの世界で高名なドラッカーは、人間としての幸せを実現するために「変化を探し、変化に対応し、変化を機会として利用する」マネジメントを働かせる意識的な努力が大切としています。まさに今日の医療環境は、大きく変化しています。病院では、複数の基礎疾患をもった低栄養の高齢者が増加し、一方で医療の高度化が加速しています。これにより医療・介護依存度の高い患者が増え、国民医療費は40兆円を超過し、より効率的な医療環境が必要とされています。そんな中、管理栄養士の仕事はどうなるのか、そして政策はどう動いていくのでしょうか——。実はこれを決めるのは、管理栄養士の働きによる成果です。われわれは、行動を始めなければなりません。

皆さまは、こうした変化に気づき、対応しようと栄養経営士試験に臨んだことと思います。小生が歩み始めたころ、「何事も始めたら半分成功であり、残りは継続すること」と習い守ってきました。デッドラインに立たされている今、同志と一緒に知恵を出し合い、日本の栄養管理の未来に貢献したいと思っています。

管理栄養士が、子どもたちの 憧れの職業になるように——

日本栄養経営実践協会 理事
熊本県立大学 環境共生学部 非常勤講師
山下 茂子



あけましておめでとうございます。皆さまは、どのような気持ちで新年をお迎えになりましたでしょうか？ このメッセージが届くころ、お手元には栄養経営士試験の結果が届いていることと思います。このような日を迎えることができ、感慨深いものがあります。それは、たくさんの仲間ができるという感謝の気持ちです。

私たち理事は、管理栄養士の専門性や将来性に、大きな不安を感じています。現実を直視し、不足している能力と必要な能力を分析し、本協会を設立し、思いを伝える基礎講習会を開催し、試験を実施してまいりました。このような活動は、気持ちを同じくする皆さまがいなければ、できなかったことです。思いを一つにした栄養経営士の仲間が、今後ますます増えることを考えると、大きな喜びを感じます。

今年は、栄養経営士の活動をスタートさせる年となります。私たちがより誇りを持てる仕事をする中で、管理栄養士という職業が、社会に認められ、期待され、子どもたちの憧れの職業になるよう、一緒に頑張りましょう。皆さまに感謝しつつ、心よりお祝い申し上げます。



経営手法を取り入れ 2016年を栄養経営元年に

日本栄養経営実践協会 理事
淀川キリスト教病院 栄養管理課 課長
大谷 幸子

新たな希望の2016年を迎えました。年明け早々に栄養経営士の第1回合格者が誕生する記念すべき年となり、私も皆さんと同様に期待で大きく胸が膨らんでいます。

ご存知のように、わが国における栄養の問題は、疾病構造の多様化や超高齢社会、さらには個々人で異なる生活背景などによって複雑化しています。いまや、医療機関や福祉施設、会社や学校などの集団だけでなく、家庭や地域など社会全体の問題として、栄養素の過剰または不足、あるいは偏りが存在し拡がっています。これらの栄養問題に対して真剣に取り組むべきなのは、いったいどの職種でしょうか。私たちは、唯一栄養を冠した職種として、管理栄養士こそが率先して解決すべき課題があることを認識する必要があります。そして、取り組むべき課題のマネジメントとさらなる専門領域の確立こそが、「頼れる管理栄養士」への必須条件となります。

栄養管理に経営の手法を取り入れることによって、私たちの手で、2016年を栄養経営元年にしましょう。これから10年先も生き残れる管理栄養士をめざして。

栄養分野の未来に 明るい光が灯る年

日本栄養経営実践協会 理事
株式会社ヘルスケア総合政策研究所 代表取締役
林 諄



栄養経営士の第1期生が誕生するこの2016年は、栄養分野が大きく変わる年になるのではないかと思います。これまで栄養分野になかった「マネジメント」という考え方が導入されることにより、現場でどのような変化が起きるのか、大いに期待しています。

しかし、この「栄養経営士」という資格は、取得することが目的ではありません。資格の取得はあくまでスタートラインに立ったということであり、これからが本番と言えます。栄養経営士同士が交流し、互いに切磋琢磨しながら研究会や勉強会を通してレベルアップし、栄養分野におけるマネジメントを実践していくことが、この資格の価値を高めていくことにつながります。

栄養経営士の第1期生の皆さまには、その土台をつくっていく使命があるということを理解していただきたいと思います。もちろん、私たちも全力でバックアップしていきます。一緒に栄養分野の新しい未来をつくっていきましょう。



ニーズに打ち勝つ信念と 継続的なたゆまぬ努力を

日本栄養経営実践協会 監事
和洋女子大学 家政学群健康栄養学類 教授
古畑 公

2016年の新年を迎え、新たな希望を抱いてスタートされた方々もいらっしゃるでしょう。

昨年は初の栄養経営士誕生に向け、全国で資格認定講習会を開催するとともに、11月29日には第1回「栄養経営士」資格認定試験が実施されました。新年早々、合格の知らせを受けた方は、次の夢に向け、一步を踏み出したことになります。

とはいえ、これがゴールではありません。栄養経営士としては、これからがスタートです。社会に期待される資格へと成長すべく、ニーズに打ち勝つ信念と、継続的なたゆまぬ努力が必要です。

栄養経営士に何ができるのか、普通の管理栄養士と何が違うのかを、今一度考えてみてください。本協会でも、栄養経営士に対するケアはもちろんのこと、多くの方に挑戦を呼びかける取り組みに力を入れてまいります。ともに、頑張ってください。

法人賛助会員紹介 **File3** ヘルシーフード株式会社

栄養部門のプロフェッショナルとして強い意志を持った栄養経営士に期待

1959年に創業したヘルシーフードは、医療・介護食品の開発・販売を行なうほか、1999年にはグループカンパニーとしてヘルシーネットワークを立ち上げ、通信販売事業にも力を入れている。栄養分野で医療・介護を支え、常に先を見続けてきた企業は、新資格・栄養経営士にどのような期待を寄せているのか。ヘルシーネットワーク営業本部営業二部特販営業課課長の多和田幸広氏にお話をうかがった。

チーム医療の一員として管理栄養士や在宅患者を支えたい

当社は、卸事業、メーカー事業、通信販売事業の3部門を柱に展開しています。

東京近県の医療機関、介護施設など約4,000軒に食品を納入しているほか、自社のプライベートブランドも展開しており、かみやすく飲み込みやすい食品や、たんぱく質調整食品などの開発を行なっています。

主要3部門の中でも最近、特に力を入れているのが通信販売事業で、在宅患者様への医療食・介護食の宅配事業を展開しています。国は2025年問題などの対策として在宅医療を推進していますが、患者様が自宅に戻った際、病院での栄養指導通りに食事を続けるのはたいへんです。そこで、医療機関や介護施設で利用している食品をご自宅にお届けすることを通じて、在宅患者様の食生活を支えていきたいと考えます。

通信販売は、医療機関や介護施設などでの栄養指導時に当社カタログをご紹介いただき、その後、在宅患者様やご家族から問い合わせを受けた際、40名のオペレーターがお客様と一緒に食品を選んだり、在宅患者様ならではの要望をうかがいながら、サービスを高めております。

通信販売用のカタログ（下写真）は、当社と、管理栄養士さん、患者様をつなぐ大切なツールですから、こだわりを持って制作しています。病態に合わせて適切な商品選びがで

きるように、「たんぱく質調整食品」「エネルギー調整食品」「介護食品や高栄養の食品」の3冊に分冊。さらに、病気や食事・栄養について、一般の方にもわかりやすい内容のコラムを充実させているほか、医療・介護関係者向けに栄養分野の最新情報を掲載するなど、「単なる商品カタログにはしない」方針で編集しており、ご好評いただいています。

通信販売事業を通じて、地域の管理栄養士さんや患者様とのかかわりは強まっており、われわれも、チーム医療の一員であるという自負を持って取り組んでいます。

法人賛助会員として栄養経営士のスキルアップをサポート

「栄養状態を上げることで、患者さんのQOLを上げる。そのために、もっと管理栄養士が頑張らなければならない。さらには病院内において栄養の意義を高め、他職種に栄養の重要性を認めてもらう活動をしなればいけない。管理栄養士の喜びは、コストダウンではなく患者さんを治すことだ」——宮澤靖先生（日本栄養経営実践協会代表理事、近森病院臨床栄養部部長）のご講演でこのようなお話を聞き、当社の黒田賢代表取締役ともども、たいへん感銘を受けました。そのような想いで患者様を守ろうとしている栄養経営士の皆様の活動に、医療・介護の食に携わる企業として協力させていただきたいと考えたのが、賛助会員になった大きな理由です。

最近、看護師さんや言語聴覚士さんなど多職種が栄養に関わる機会が増えていますが、栄養に関しては管理栄養士の先生が指揮をしていく方向が望ましいと感じております。そんな中、「10年後に生き残れる管理栄養士をめざそう」という強い意志のもとでつくられた栄養経営士資格には、大いに賛同しました。

企業DATA

ヘルシーフード株式会社

本社住所：東京都日野市万願寺1-34-3

本社電話：042-581-1191

代表取締役：黒田 賢

事業内容：医療機関・介護施設向け食品の開発・販売 等
従業員数：195人

関連会社：株式会社ヘルシーネットワーク
蘇州和喜福食品有限公司

<http://www.healthy-food.co.jp/>

当社は今、栄養指導のスキルアップに注目し、さまざまなセミナーを開催しています。病院で実際に栄養指導を行なっている方を講師に迎え、具体的な指導方法をレクチャー



多和田幸広氏
(ヘルシーネットワーク営業本部
営業二部特販営業課課長)

する講義は参加者の満足度も高いので、今後、病態別での開催も視野に入れております。このような企画を通じて、栄養経営士の皆様のスキルアップをサポートし、また、われわれも知識を高めて、ともに患者様を支えていきたいと思っています。

情報提供などを通じて栄養経営士、利用者、他メーカーのまとめ役に

当社は卸事業も行なっているため、以前から医療・介護食メーカーとのつながりを持っており、それが強みでもあります。

近年、医療・介護食のラインナップは非常に充実してきています。毎週のように新商品が発売され、どの食品を選んだらよいのか、迷うことも多いのではないのでしょうか。そこでわれわれは、管理栄養士の先生や患者様が適切な食品を選ぶように、自社他社を問わず食品の特性や栄養成分などの情報を提供し、食品選びのアドバイスなども行なっています。在宅医療が中心となる超高齢社会を前に、医療・介護食メーカー同士、今まで以上に情報交換に努めるなど、一つのチームとしての取り組みが求められてきているのかもしれない。

栄養経営士をはじめとした管理栄養士の皆様、在宅患者様などエンドユーザーの方々、そして医療・介護食メーカーそれぞれに必要な情報を発信することにより、一丸となって患者様の健康と栄養分野の発展に寄与していきたいと考えます。



在宅患者向け通信販売カタログ「いきいき食品(たんぱく質調整食品)」 「にこにこ食品(エネルギー調整食品)」 「はつらつ食品(介護食品や高栄養の食品)」は、年2回発行

管理栄養士のための基礎医学講座

当講座は、管理栄養士に必要な基礎医学を学び、他職種との連携を円滑にするためのものです。「今さら恥ずかしくて聞けない」「カンファレンスで話についていけない」「一から勉強しなおしたいけど、どこから手をつけて良いかわからない」といった悩みを抱える管理栄養士の方に最適な内容となっています。

講師には医師で九州女子大学家政学部教授の三浦公志郎先生をお迎えし、医師の立場から「ここだけは知っておいてほしい」というポイントを解説いただきます。管理栄養士の人間力・思考力・技術力が急速に求められる現在、ぜひ当講座をご活用ください。

日程 平成**28**年 **2**月**20**日(土)

時間 **10:30~16:30** **定員** **90**名

講師 三浦公志郎氏 (九州女子大学家政学部栄養学科教授・医師)

プログラム

- ・代謝疾患に必要な基礎知識
(糖質代謝異常、脂質代謝異常、タンパク質代謝異常など)
- ・糖尿病についての医学的知識と栄養管理
- ※その他、症例検討や質問タイムあり

会場 九州ビル8階松の間
(福岡市博多区博多駅南1-8-31) 博多駅筑紫口より徒歩5分

受講料 栄養経営士資格認定基礎講習受講者：7,000円(税込)
一般：8,000円(税込)

【お問い合わせ・お申し込み先】 株式会社日本医療企画九州支社 TEL:092-418-2828 担当:渡邊

初の「栄養経営士」資格認定試験 304人が合格！

一般社団法人日本栄養経営実践協会は、昨年(2015年)11月29日、第1回「栄養経営士」資格認定試験を実施した。当日は全国7カ所の試験会場で合計405人が受験。本年(2016年)1月8日、晴れて304人の合格が発表された。

管理栄養士のための 新・マネジメント資格

「栄養経営士」は、2014年5月に設立された日本栄養経営実践協会が認定する新しい資格として誕生した。本協会は現場の管理栄養士に向けて、マネジメントスキルの習得をめざした教育を行なうことを目的に設立され、「栄養経営士」の養成は、重要な教育プログラムの一つに位置づけられている。

「栄養経営士」とは、栄養管理のチームマネ



熱気につつまれる試験会場(大阪会場)

栄養経営士に なるためのルート

「栄養経営士」になるためには、2つの段階を経る必要がある。第1段階は、「栄養経営士」資格認定基礎講習(以下、基礎講習)を受講。本基礎講習の修了者で管理栄養士として2年の実務経験がある者が、第2段階である「栄養経営士」資格認定試験(以下、資格認定試験)の受験に進むことができる。そして、資格認定試験の合

格者が、入会・資格認定審査を経て、登録されることにより「栄養経営士」となることができる。

基礎講習は、これまでの自身の業務を振り返りながら、今後、栄養管理の専門職として生き残るためにどうしたらよいのか、「栄養経営」とは何か、「栄養経営士」とは何をめざすのか——を習得するための1日(7時間)の講習で、受講資格の定めはなく、誰でも受講することができる。

15年度は、全国7カ所を会場に計8回の基礎講習を開催し、延べ762人が修了した。この内、管理栄養士として2年以上の勤務経験を有する684人が、資格認定試験の受験資格をもつことになる。

資格認定試験は、栄養経営に関する基礎知識、倫理・モラルについて、「栄養経営士」像に鑑み、その習得・到達度を測ることを目的として実施される。出題科目は、「病棟業務管理」「コスト管理」「組織マネジメント」「人材教育マネジメント」「多職種協働コミュニケーション」「病態栄養」の6科目、五肢選択方式の50問を80分で解答する。

第1回資格認定試験 405人が受験！

第1回資格認定試験は、15年11月29日に札幌、仙台、東京、名古屋、金沢、大阪、福岡の全国7会場で実施された。

資格認定試験の受験資格をもつ684人中、受験申込者は421人(61.5%)と、半数以上が第1回資格認定試験に臨んだ。

405人、16年1月8日の合格発表により、晴れて304人の合格者が誕生した。前述の通り、合格者は、入会・資格認定審査を経て、「栄養経営士」になることができる。

資格認定試験の結果概要は、以下の通りである。

【結果概要】
受験申込者数421人のうち405人が受験し、304人が合格した。受験率(96.2%)は、一般的に資格試験の受験率としては格段に高く、受験者の意気込みの強さがとてわかる。合格率(75.1%)は、第1回試験とあって足切り点と比較的低く設定されたと考えられる。

【年齢別構成】
受験者数は、「30歳以上39歳以下」が156人(受験者比38.5%)と最も高く、次いで「40歳以上49歳以下」が130人(同32.1%)と続く。

合格者についても、同様に「30歳以上39歳以下」が127人(同41.8%)と最も高く、次いで「40歳以上49歳以下」が92人(同30.3%)と続く。

表1 「栄養経営士」資格認定試験結果まとめ

① 受験申込者数	421 人
② 受験者数	405 人
③ 受験率 (②/①)	96.2%
④ 合格者数	304 人
⑤ 合格率 (⑤/④)	75.1%
⑥ 平均点	32 点*
⑦ 最高得点	45 点*

* 50点満点/50問、1問1点

【就業場所別構成】
受験者を就業場所別に見ると、病医院に勤務する管理栄養士が344人(受験者比84.9%)と大多数を占め、次いで介護福祉施設等に勤務する管理栄養士が43人(同10.6%)、栄養関連企業が7人(同1.7%)、行政関連施設2人(同0.5%)、その他9人(同2.2%)と続く。

【まとめ】
表1「第1回「栄養経営士」資格認定試験結果まとめ」を参照。

* * * * *

第2回資格認定試験が16年6月に予定されている。15年度の基礎講習修了者で、受験資格ある方は、ぜひ、挑戦してほしい。

祝 栄養経営士誕生！ 第1回 全国栄養経営士のつどい 栄養経営士がつくる栄養分野の新たな未来

平成28年
3月13日(日)

参加料/会員および会員申請中: 3,000円

基礎講習受講者: 5,000円

一般: 8,000円 (いずれも税込)

場 所/東京都医業健康保険組合会館 大ホール(東京都新宿区南元町4)

プログラム(一部)

【基調講演】
栄養部門の現状と未来——超高齢社会における地域医療のなかで何をすべきか
驚澤 尚宏 (東邦大学医療センター大森病院栄養治療センター部長、准教授)

【特別セッション】
栄養経営士の可能性を考える——新しい資格の誕生が与える栄養部門へのインパクトとは
【座長】吉田 貞夫 (医療法人真徳会沖縄メディカル病院あがりまクリニック院長、一般社団法人日本栄養経営実践協会理事)

【パネルディスカッション】
栄養経営士は栄養部門をどう変えるか——現場主導型の栄養経営の確立をめざして
【座長】宮澤 靖 (社会医療法人近森会近森病院臨床栄養部部長、一般社団法人日本栄養経営実践協会代表理事)

【お問い合わせ・お申し込み先】 一般社団法人日本栄養経営実践協会 TEL:03-5289-7021 <http://nutrition-management.jp>